

ご利用者の目標・“夢”の実現に向けて自立支援を強化!!

我々は Life planner♡

お手伝いいたします



思いのほかかんたん

ご利用者お一人おひとりの思い・希望・生きる目標を実現できるように多職種が連携して支援します😊

いぶき苑本館 大規模リフォーム



設備の老朽化に伴い空調設備・証明設備等の大規模改修を実施します。

在宅サービス事業所拡充

☆認知症対応型
デイサービス開所!
☆ショートステイ運用始動

ほのほのいぶき未併用の1室を新たに併設型ショートステイとして活用します。

よりのよい
職場環境へ

ワークライフバランスの
推進～

☆エクセレント企業認定
仕事と家庭の両立を図るため、優良な取り組みを実施していきます。



▲認定授与式の様子

☆岐阜県介護人材育成事業者
認定制度
目指せ!グレード1

新規採用者向け
プリセプター制度を

新規採用職員を先輩職員が“1対1”で精神ケアを含めサポート♥先輩職員も自己研鑽でき、相互に成長できるように努めています。

フオー一体制
バッチリ!!!



平成30年度

白寿会の
取り組み!!

地域共生社会への
アプローチ!!

★おもちゃ図書館
はじめます★



詳しくは
P4で紹介

今年もやります!
脳の元気ハツラツ教室
& 認知症カフェ

「脳の元気がハツラツ教室」による認知症予防の受講者数の拡大を図り、心身共に健康状態を保てるような教室を維持します。サポーターも地域から募集し、活動できる体制を維持・拡大していきます。



▲和気藹々とした
教室の様子

▶4月より垂井町の受託事業として運営します!

認知症カフェは
毎月
最終水曜日
開店



介護ロボット、ICT化により
職員の負担軽減

(詳しくはP3で紹介)

職員の業務改善及び身体的・精神的負担軽減を図ります。

介助ロボットや
センサーを続々と
導入。



特集1
介護現場でも
ロボット大活躍

当苑では職員の業務効率化及び、介護業務における身体的精神的負担の軽減を図り、ご利用者により良いサービスを提供するため、ICT(Information and Communication Technology(インフォメーション・コミュニケーション)情報通信技術)及びロボット等最先端技術を導入する方針を打ち立てました。平成28年4月より「ICT・ロボット管理委員会」を設立。これにより従来から導入している介護記録管理ソフト「福祉見聞録」に加え、移乗サポートロボット「HUG」2台、見守りロボット「シルエット見守りセンサー」3台を導入しました。

介護記録管理ソフトは、ご利用者の日々の様子から医療的な情報まで細かく記録することができ、それらの情報を全ての職員が共有することができます。また、これらのデータの蓄積は、排泄の傾向を知りそれに合わせて排泄介助を行ったり、体重の増減から体調の変化を察し栄養面や医療面での対応を検討したりと、ご利用者の生活を支えるツールとして大変役立っています。

移乗ロボット「HUG」は、「立つ」動作が難しいご利用者に使用していただき、安全に立っていただくことでトイレでの排泄や快適な入浴を可能にしました。

見守りロボット「シルエット見守りセンサー」は、夜間落ち着きがなく転倒の危険性の高いご利用者に使用していただき、ゆっくり休んで頂く事が可能となりました。

平成29年5月には、厚生労働省の「介護ロボット導入の支援及び導入効果実証研究事業」に参画し、新たに見守りロボット「OWLSIGHT」を3台を導入、転倒を未然に防ぐことができ、万が一、転倒されてもその原因を追究し再発を防ぐことができています。

非接触・無拘束ヘッド見守りシステム
OWLSIGHT
(株式会社アイデアクエスト)

・対象者…転倒のリスクの高い方
・効果…①ご利用者の様子・センサー音や職員の方々の訪室がなくなった事で静かに休まれるようになった。
②職員の声「寝返りのような危険のない動きでの訪室の必要がなくなった。その為、1時間おきの定期巡回を3時間おきに減らせた。映像が記録される為、事故発生時分析がしやすい。」

・導入時期…平成29年5月
・所有台数…別館3台



シルエット見守りセンサー
WOS-114N
(キング通信工業株式会社)

・対象者…転倒のリスクの高い方
・効果…①ご利用者の様子・センサー音や職員の方々の訪室が無くなった事で静かに休まれるようになった。
②職員の声「シルエットで様子がわかるため必要時の訪室で済み、業務の軽減ができる。ご利用者の行動を把握でき、危険な行為の前に訪室し対応ができる。映像が録画されているので事故があった時分析できる。」

・導入時期…平成28年9月
・所有台数…本館・別館・ほのほのいぶき各1台



介護ロボットのご紹介

移乗サポートロボット・HUG
(富士機械製造株式会社)

・対象者…移乗に介助を要する方
・長所…ご自身の脚力を活かしながら最小限の介助で移乗することができ
・効果…①ご利用者の声「トイレに行けて嬉しい。身体が楽。」
②職員の声「身体に負担がかからず腰痛が軽減された。」

・導入時期…平成29年4月
・所有台数…本館・別館各1台



遠赤外線ホットロースター
(TAIJI)

・対象者…美味しいものが好きな方
・役割…遠赤外線効果で芯までからっから美味しく焼き芋を焼く。
・長所…本格的焼き芋が焼ける。
焼き芋の保温箱と天然石、ミニのぼりが演出効果を高める。

・導入時期…平成28年秋
・所有台数…法人共有1台



ちやっかり
焼き芋器の紹介

特集2 世代も障がいの枠も超えた ごちゃまぜの居場所づくりへ

4月29日(日)9:30~12:00
別館地域交流スペースにて

おもちゃ図書館オープンします!!

おもちゃ図書館って?

「障がいのある子ども達におもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まったボランティア活動です。スタートした当時は、障害のある子どものための活動でしたが、現在は障がいのある子もいない子も、ともに遊び交流し育ちあう場となっています。そして、一人ひとりの違いを認め合い、共に生きる地域づくりをめざしています。具体的には、

- ① 沢山のおもちゃを用意して待っています。
- ② おうちでも遊べるように、貸出します。
- ③ 遊び場の利用も、貸出しも無料です。



高齢者施設でおもちゃ図書館開設のきっかけ

私の祖母の夢は、私の子どもを抱っこすることだとずっと聞いており、子どもを授かったと報告した時には涙を流して喜んでいました。「そんなに嬉しい?」と尋ねたら「ばあちゃんが生きてきた中で今日が一番嬉しい」と泣いていました。それから祖母はいつも妻の体調を気にしたり、子どもに会えるのを楽しみにしていましたが、出産予定日の1か月前に交通事故でこの世を去り、子どもを抱っこするという夢を叶える事ができませんでした。

祖母が私の子を楽しみにしてくれていたように、いぶき苑のご利用者の方でもお子さんやお孫さんの面会を楽しみにされている方がたくさんみえます。また、私が職場に子供を連れていくと、自分の孫の様に可愛がって下さり、笑顔が溢れます。私達専門職よりも簡単にご利用者を笑顔にする子どもの力は無限大であり、おもちゃが1つの媒介になって、世代や障がいの枠を越えた丸ごと繋がれる居場所にしたいと考えています。

地域のつながりをつくりたい

一昔前までであった「地域のつながり」は、お互いの顔が見えていて、困った時には「お互いさま」と言いながら助け合う。そんなお互いを思い合う関係が、「地域のつながり」であり、子どもから高齢者まで、障がいのある方でも、安心して暮らしていく事ができていたと思います。そんな地域の繋がりを地域の方と考えていけたらと思います。



2月28日(水)いぶきっさ(認知症カフェ)に併設する形で、プレオープン♪



102歳のご利用者と1歳の赤ちゃん
年齢差なんと101歳!!